# 練馬区立開進第四中学校 学力向上を図るための全体計画

### 〈都教育委員会教育目標〉

子供たちが、知性、感性、道徳心や 体力をはぐくみ、人間性豊かに成長 することを願う。

### (区教育委員会教育目標)

・教育基本法の精神にのっとり、人間 尊重の精神を基調とし、学校・家庭・ 地域社会との緊密な連携のもとに、 心身ともに健康で知性と感性に富 み、人間性豊かな子供の育成を図り ます。

#### 〈学校教育目標〉

- ・自ら学ぶ意欲をもち、確かな学力を身に付ける生徒
- ・勤労を尊び、社会に貢献しようとする態度をもつ生徒
- ・互いの個性を認め合い、思いやりのある行動ができる生徒
- ・健やかで、たくましい心と体つくりに努める生徒
- ・自他の文化を尊重し、国際的な視野をもつ生徒

#### 〈本校生徒の実能〉

- ・規則にのっとり、落ち着いた学校生活を している。
- ・家庭学習習慣に課題がみられる。
  《保護者の実態》
- ・学校行事に関心が高く、PTA活動にも 協力的である。

#### 〈地域社会の実態〉

・通学区域の大半が住宅地で、落ち着いた雰囲気で、教育への関心が高い。



#### (学校経営方針)

【目指す学校の姿】 ◇生徒が毎日通いたい学校 ◇保護者に信頼される学校 ◇地域社会から愛される学校 ◇小中一貫教育の推進

### 【今年度の取組目標と方策】 ◎学習指導

- (1) 学習指導要領の内容に基づいた指導計画により、基礎的・基本的な学力の定着を重点に置き、確実な知識・技能の定着を図る。思考力・判断力・表現力を育成するため、各教科において言語活動の充実を踏まえた授業を行う。
- (2) 学力調査の結果を踏まえた授業改善推進プランを作成して授業を展開し、学力の向上を図る。
- (3) 数学・英語においては、課題や習熟の程度に応じた少人数授業を実施し、学習内容の確実な習得と学力の定着を図る。さらに、学力向上支援講師を活用して、きめ細かな指導を行う。
- (4) 英語においては、ALTを活用して、学習内容の確実な習得と学力の定着を図る。
- (5) 各教科において、体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、ICT機器によるデジタルコンテンツの活用を図り、生徒により分かりやすい授業を展開して学習内容の理解を図る。
- (6) 朝学習を効果的に全校体制で実施する。
- (7) 夏季休業期間中に学力補充教室を行い、基礎基本の確実な定着を図る。
- (8) 道徳の授業の充実を図り、人権尊重の視点を明確にし、学校教育全体を通して道徳的心情・判断力・実践意欲などの道徳性を培う。
- (9) 基礎体力の向上を目指すとともに運動技能を高め、新体力テストの結果をもとに健康に対する意識の向上を図る。

### 各教科の指導の重点

・基礎的・基本的な学力の定 着を図り、柔軟な思考力や 豊かな創造力、表現力を育 成します。

### 総合的な学習の時間の指導の重点

・自らの課題を見付け、自ら 学び、自ら主体的に判断 し、よりよく問題解決する 資質を育てます。

#### 本校の考える 「確かな学力」 判 想考 表現力 断 カ 基礎・基本 課題発見能力 問題解決能力 すびが \* 心德教 知 識技能 教師の 生徒の 学習力の向上 授業力の向上 生徒の学習習慣の形成 ① 自分から進んで学習する力 ② 繰り返し学習する力 生徒理解に基づいた授業の展開 ③ 分からないことを解決しようとする力 ④ 苦手なことを克服しようとする力 基本的な生活習慣の確立 ⑤ 学んだことを日常に生かす力

### 道徳教育の指導の重点

・生命を尊重する心を基盤として、自立心、基本的なモラル、 文化や伝統を尊重する態度を 育成します。

### 特別活動の指導の重点

・心身の調和のとれた発達と個性 の伸長を図り、集団や社会の一 員としてよりよい生活を築こ うとする自主的、実践的な態度 を育成します。

# 進路指導の重点

・キャリア教育の視点に立ち、望ましい職業観や勤労 観を育成し、進路選択能力を養います。

# 生活指導の重点

- ・基本的生活習慣を確立します。
- ・人権尊重の精神を養います。
- ・奉仕の精神を養います。
- ・集団の一員としての自覚を育てます。

### 本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法 の工夫	教育課程編成上の 工夫	校内における研究や 研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との 連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul><li>・習熟度別少人数授業の実施</li><li>・きめ細かな指導の推進</li></ul>	・授業時数の確保 ・学びの連続性を意 識した小中乗り入 れ授業 ・補充教室の実施	・自助の能力と共助の 精神を高め大災害を 乗り越える防災教育 ・指導方法・評価方法に ついての研修	<ul><li>・各教科の評価方法の相 互理解と確認</li><li>・生徒授業評価を活用した授業改善</li></ul>	<ul><li>・"学びの道しるべ"による 指導内容や評価・評定へ の理解</li><li>・学校評価の実施・家庭学習 アンケートの実施とその 結果の活用</li></ul>	<ul><li>・発達段階に応じた学習指導の推進</li><li>・課題改善カリキュラムの考え方を生かした授業改善</li></ul>